



「 運動会で大切にしたい姿 」

体育的行事委員会主任 八木 祐輔

今年のワールドベースボールクラシックでは日本中で野球が盛り上がり、激闘を制し、侍 JAPAN の選手達が勝つことにこだわり、闘志むき出して戦う姿に、多くの方が胸を打たれたのではないのでしょうか。では、小学校の体育授業を受ける子供たちに求める姿の中で最も大切なことは何だと思えますか。もちろん、勝利を目指して一生懸命に取り組む姿も大切です。ですが、小学校の運動会を思い出してみてください。怒られたりして無理して頑張っていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。全ての子供が「これからも運動をしたい！」と思えるような運動会になっていたのでしょうか。

私たちは、勝つために努力する姿だけでなく、運動が得意な子も苦手な子も、全ての子供たちがこれから先、大人になってもスポーツに親しもうとする姿を育てることが大切だと考えます。そのために、日ごろの体育学習では、運動が得意な子も苦手な子もみんなが運動の楽しさを味わう中で、より良く動けるように試行錯誤する過程を大切にしています。自分は運動が得意だから何もしなくても大丈夫というわけではありません。運動が得意な子も苦手な子もさらに動きを良くしようと試行錯誤し、さらに上の段階を目指す、あるいは友達に教えたり応援したり、励ましたりする姿を目指して、日々授業を行っています。

今月は運動会があります。舎人第一小学校の運動会では、体育の授業を通して培ってきた子供たちの姿が保護者に伝わる運動会を目指します。地域、保護者の方には、技能の高まりだけでなく、子供たちがさらに良くしようと努力したり、思考したりした経過の姿にもぜひ注目して、ほめていただけますと幸いです。

「 子供たちの危機管理意識を育てる 」

生活指導主任 染谷 健斗

4月もあっという間に1か月が経ちました。子供たちは、学校の決まりや学年・学級の決まりなど学校の中で様々な「決まり」を遵守しながら過ごしています。学校生活の様子を見てみると、子供たち一人一人が決まりをよく理解して過ごす姿が見られ、とねいちの子供たちの素直さを感じています。

さて、前年度2月より、はさみの保管については担任が回収し、一括管理をしていました。その後、刃物の使い方について教員間で何度も話し合い、検討を重ねてきました。検討する中で、生涯子供たちが自分の命を守っていく力を身に付けるためには、教員がずっと管理するだけでは至らないと考えました。そこで、安全指導朝会を実施し、子供たちが自分ごととして考えることができるように、はさみの「持ち方」「使い方」について、教員たちが実際の教室場面を演じながら指導しました。

私たちは子供たちの「安心・安全」を保障することが何よりも重要と考えています。その中で、「刃物」が危ないものだからと言って取り上げるだけの指導では、根本的な解決につながらないと考えます。重要なことは、子供たちが自分自身で危険を感じると「危機管理意識」を高めていくことです。そのためには、日頃から安心・安全な学校生活を送ることについて、自分で考え、行動できるようにしていきたいと思えます。ご家庭でも、日頃から身の回りの安全について話題にさせていただき、話し合っただけなら幸いです。

今年度からは、「はさみ」については道具箱の中で一人一人が安全に管理できるよう指導していきます。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。